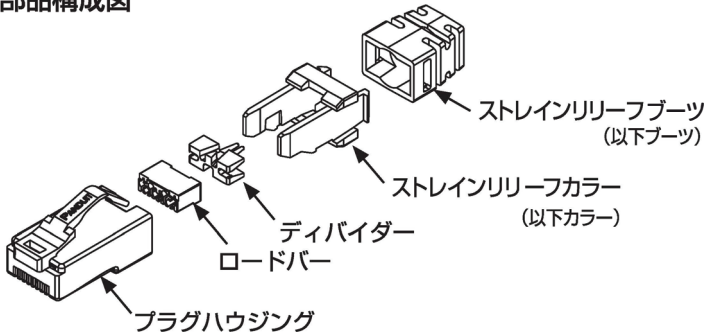


### T568B成端手順

#### 部品構成図



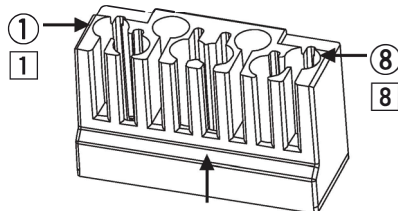
ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568B	茶	茶白	緑	青白	青	緑白	橙	橙白

#### ■成端仕様

- 外被覆外径最大 6.10φmm～ 6.60φmm
- 心線径 AWG23 の単線
- 心線絶縁径最大 1.19 φmm
- T568B 結線は茶色対の対角側が橙色対
- 使用するケーブルの仕様に合うか事前にお確かめの上、ご使用ください。  
\*バンドウイット製 Cat6A ケーブル「PUC6AHD04BU-EG」「PUL6AHD04BU-EG」の専用モジュラープラグです。
- 圧接は MPT5-8AS を使用

#### ロードバー

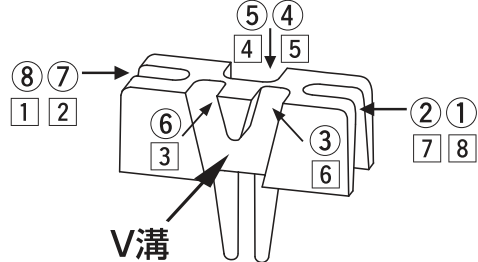
挿入時の向きに注意して下さい



コンタクトが貫通する8個の溝

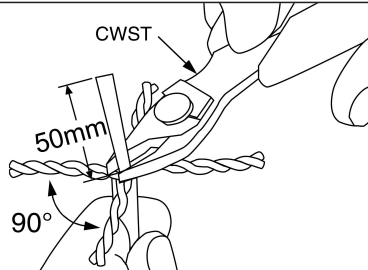
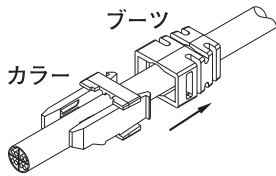
#### ディバイダー

V溝とコンタクト番号の位置を確認して下さい



V溝

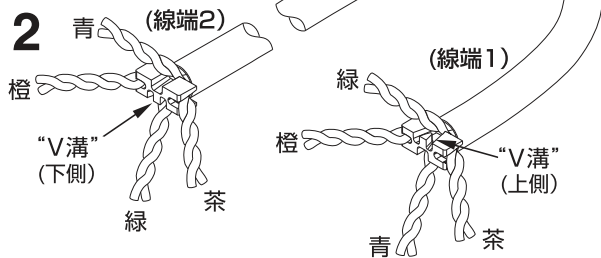
1



#### ◆ブーツとカラーを最初に挿入します。

- ◆ケーブル端から 50mm ほど外被覆をむきます。
- ◆AXテープを剥がして導線を取り出します。
- ◆各対を左図のように十字に開きます。
- ◆中央の介在物を根元の部分でカットします。

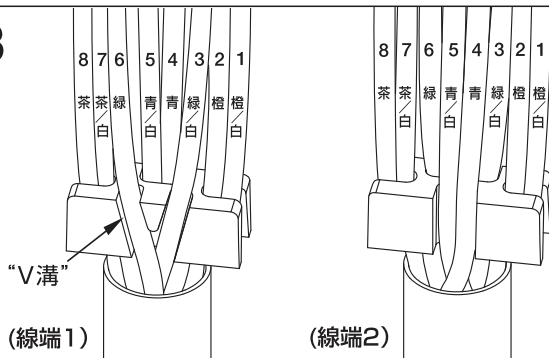
2



#### ◆ケーブルの両端では構造が異なります。

- ◆両端の橙色対と茶色対の位置を合わせると、青色対と緑色対の位置が逆になります。
- ◆ディバイダーのV溝が緑色対に合うようにしてください。

3



- ◆各対をディバイダーの所までよりを戻します。
- ◆茶色対をディバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆橙色対は対角側の溝に橙色を先に後から橙白をハメ込みます。(7番、8番と2番、1番の溝にハメ込む)
- ◆青色対をディバイダー中央小さい方の溝に4番側が青色で5番側に青白となる所で色合わせをします。
- ◆緑色対はもう片面のV溝となっている3番側が緑白で6番側が緑色となるように色合わせをします。(4番、5番と3番、6番の溝に合わせる)

**4**

ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568B	茶	茶白	緑	青白	青	緑白	橙	橙白

25mm

(線端1)

- ◆ ディバイダーを押さえながら各対のよりを戻して導線を真っ直ぐに伸ばします。
- ◆ 1番から8番ピンまで一列にしてディバイダーから25mmほど空けて導線を斜めにカットします。(ロードバーの挿入が容易になります)
- ☆ 挿入を補助する CSPT 工具があります。この工具を使用する時にはブーツは装着しないでください。

**5**

(線端2)

平らな面

茶色

① ⑧

ピン番号

(線端1)

平らな面

茶色

① ⑧

- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロードバーの平らな面が表になっている事を確認してロードバーを挿入します。

**6**

茶色

平らな面

**7**

茶色

平らな面

(線端1)

- ◆ ディバイダーとのすき間が出来ないようにしっかりと挿入します。
- ◆ 1番と8番の導線を少し外側に曲げます。
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーとロードバーを押さえながらカラーの平らな面を表にしてディバイダーまで引き寄せしてから、ロードバーの先端で余分な導線をカットします。

**8**

(線端2)

CSPT使用時のブーツ位置

(線端1)

① ⑧

ピン番号

- ◆ 図のようにカラーの向きを確認してハウジングに挿入します。
- ☆ 挿入を補助する CSPT 工具が有ります。この工具を使用する時にはブーツは装着しないで下さい。

**9**

CSPT

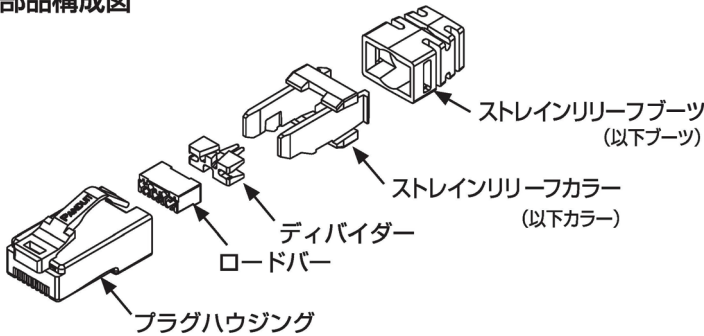
**10**

MPT5-8AS

- ◆ CSPT を使用して、ラッチするまでカラーを押し込みます。
- ◆ 圧着工具 MPT5-8AS を使用して一括圧接します。
- ◆ ブーツを装着して成端完了です。

# T568A成端手順

## 部品構成図



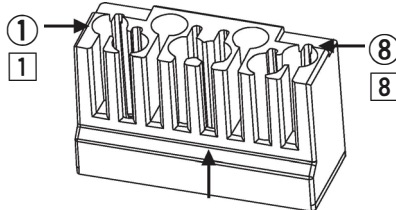
ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568A	茶	茶白	橙	青白	青	橙白	緑	緑白

### ■成端仕様

- 外被覆外径最大 6.60φmm～8.00φmm
- 心線径 AWG23 および AWG24 の単線
- 心線絶縁径最大 1.2192 φmm
- T568A 結線は茶色対の対角側が緑色対
- 使用するケーブルの仕様に合うか事前にお確かめの上、ご使用ください。
- \*バンドウイット製 Cat6A ケーブル「PUL6AHD04BU-EG」には使用できません。PUL6AHD04BU-EGにはかんたん成端モジュラープラグ「FP6X88MTG」を使用してください。
- 圧接は MPT5-8AS を使用

### ロードバー

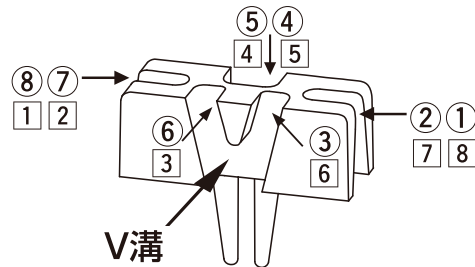
挿入時の向きに注意して下さい



コンタクトが貫通する8個の溝

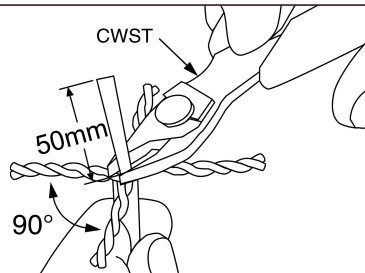
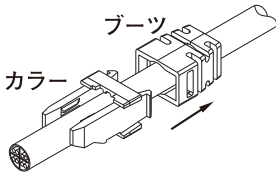
### ディバイダー

V溝とコンタクト番号の位置を確認して下さい



V溝

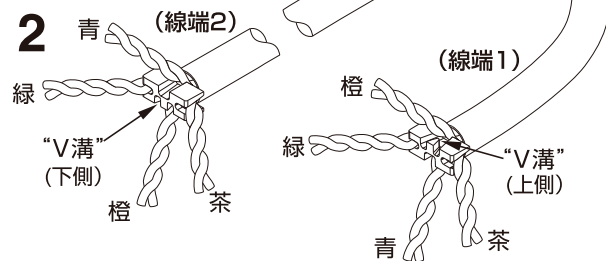
1



### ◆ブーツとカラーを最初に挿入します。

- ◆ ケーブル端から50mmほど外被覆をむきます。
- ◆ AXテープを剥がして導線を取り出します。
- ◆ 各対を十字方向のように開きます（放射状）。
- ◆ 中央に介在物（十字介在）がある場合には導線を曲げた根本から4mmほどの所でカットします。

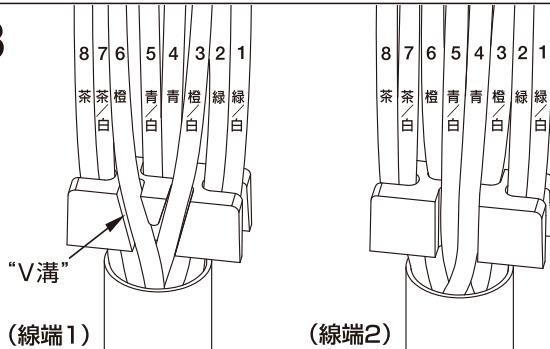
2



### ◆ケーブルの両端では構造が異なります。

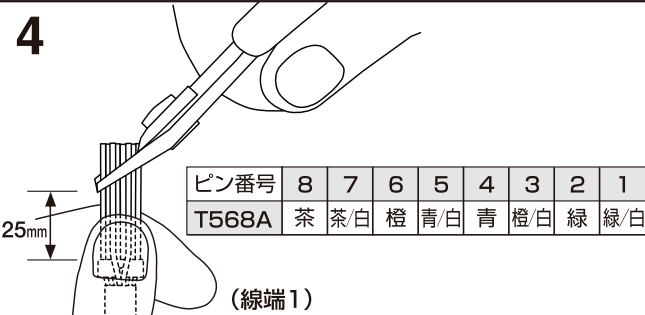
- ◆ 両端の緑色対と茶色対の位置を合わせると、青色対と橙色対の位置が逆になります。
- ◆ ディバイダーのV溝が橙色対に合うようにして下さい。

3



- ◆ 各対をディバイダーの所までよりを戻します。
- ◆ 茶色対をディバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆ 緑色対は対角側の溝に緑色を先に後から緑白をハメ込みます。（7番、8番と2番、1番の溝にハメ込む）
- ◆ 青色対をディバイダー中央小さい方の溝に4番側が青色で5番側に青白となる所で色合わせをします。
- ◆ 橙色対はもう片面のV溝となっている3番側が橙白で6番側が橙色となるように色合わせをします。（4番、5番と3番、6番の溝に合わせる）

### 4

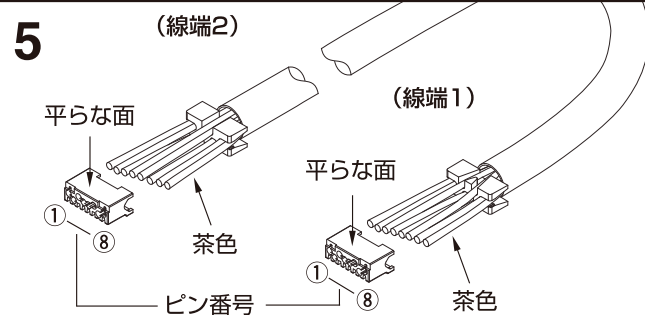


ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568A	茶	茶白	橙	青白	青	橙白	緑	緑白

(線端1)

- ◆ ディバイダーを押さえながら各対のよりを戻して導線を真っ直ぐに伸ばします。
- ◆ 1番から8番ピンまで一列にしてディバイダーから25mmほど空けて導線を斜めにカットします。(ロードバーの挿入が容易になります)

### 5



(線端2)

(線端1)

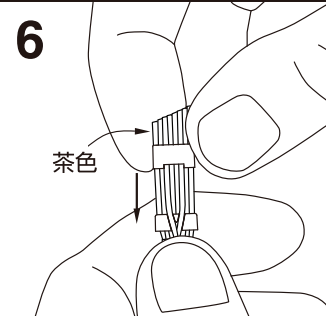
① ⑧

茶色

ピン番号

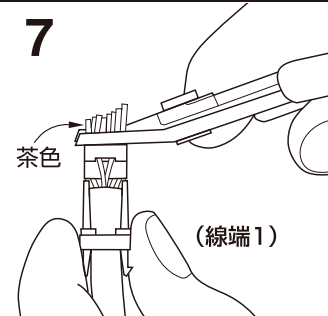
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロードバーの平らな面が表になっている事を確認してロードバーを挿入します。

### 6



茶色

### 7

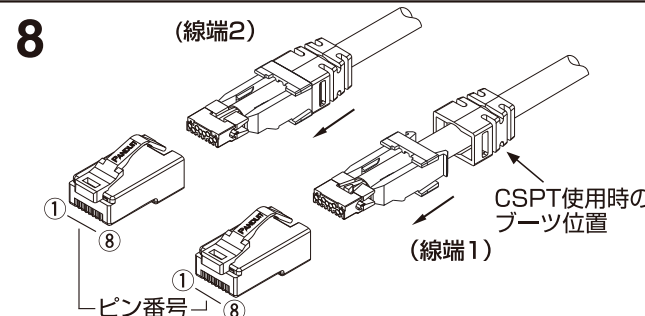


茶色

(線端1)

- ◆ ディバイダーとのすき間が出来ないようにしっかりと挿入します。
- ◆ 1番と8番の導線を少し外側に曲げます。
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーとロードバーを押さえながらカラーの平らの面を表にしてディバイダーまで引き寄せてから、ロードバーの先端で余分な導線をカットします。

### 8



(線端2)

(線端1)

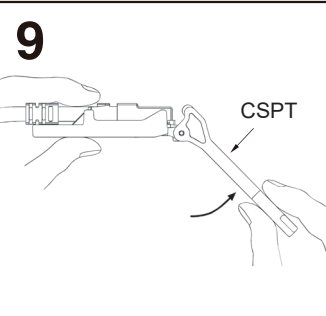
CSPT使用時のブーツ位置

① ⑧

ピン番号

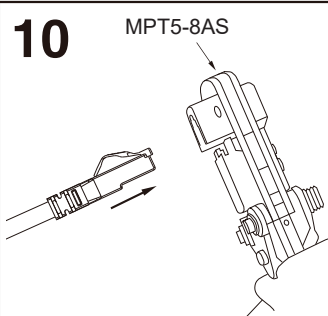
- ◆ 図のようにカラーの向きを確認してハウジングに挿入します。
- ☆挿入を補助するCSPT工具が有ります。この工具を使用する時にはブーツは装着しないで下さい。

### 9



CSPT

### 10



MPT5-8AS

- ◆ CSPT を使用して、ラッチするまでカラーを押し込みます。
- ◆ 圧着工具 MPT5-8AS を使用して一括圧接します。
- ◆ ブーツを装着して成端完了です。